

青瀬



青瀬地区コミュニティ協議会で、およそ15種類の柑橘類を育てている。収穫されたみかんは、加工品原料になり、余った分は青瀬地区コミュニティセンターで販売される。

ハヤトリが自生している。青瀬の人たちは漬物にして食べる。

祭神、少彦名神(スクナヒコナノミコト)を祀っている。毎年11月3日に例祭があり、ヤンハの奉納も行われる。桜の花見も最高。

青瀬地区コミュニティ協議会 経営の宿。素泊まり3000円

青瀬海岸は綺麗な白砂でウミガメが産卵にくる。

青瀬地区コミュニティセンター

青瀬地区のビジネスの中心。甌島全体の椿の実を買い取って椿油、バスエッセンスの製造・販売をしており、椿油搾り体験もできる。また、青瀬地区で栽培されたみかんで作った、きのぼん(ポン酢)やマドレーヌ等の販売も手がける。

甌島 日常マップ

青瀬地区

コミュニティビジネスが盛んな団結の町

青瀬地区は下甌島の東海岸に位置し、海の恵みが豊かな地域です。少子化に伴って人口は減っていますが、椿油やみかんの加工品の販売、観光体験の受け入れ、宿の経営などのコミュニティビジネスが盛んで、地域全体に一体感があり活気が溢れています。特に甌島の特産品になっている椿油が有名で、甌島全島の椿の実が青瀬地区に集まっています。観光名所の瀬尾観音三滝も青瀬地区にあります。

イチオシ方言: きっせかあひか(うるさい)
かえるの呼び方: わくろうさん

青瀬地区のイベント・行事
6月 青瀬の日 8月 夏祭り
9月 敬老会 10月 合同運動会
11月 青瀬神社例祭・こしきま竜宮文化フェスタ
12月 助八古道を歩こうかい!

※お土産、観光、イベント体験は青瀬地区コミュニティ協議会まで!
青瀬地区コミュニティ協議会 電話番号:09969-5-0952

青瀬地区はこの辺り!



青瀬海岸から彼岸の時期には朝日が桜島山頂に重なり輝く「ダイヤモンド桜島」が見える。
春の彼岸:3月10~12日頃
秋の彼岸:9月20~23日頃

瀬尾

青瀬漁港

昔は、漁師の家から茅を1束ずつ持ち寄り、恵比寿神社の前海岸に、定置網漁で使う網を作るための小屋をつくっていた。イワシ・アジ・ブリ・サバなどがとれ、昔は抽選で船に乗る人を決めるほど盛況だった。



石造の立派な神社。

瀬尾観音三滝の手前にあるキャンプ場。滝の音が聞こえる。

全体

トガリ瀬

矢房大明神〜観音堂、謎の一直線

北は矢房大明神から、南は瀬尾観音三滝の観音堂まで6つのお堂があり、そのお堂の位置を結ぶと一直線に並んでいる。この一直線が意味すること...その謎はまだ解明されていない。

昔は鹿児島県で5本の指に入ると言われた有数の漁場。現在も青瀬漁業生産組合が定置網漁を行っている。

瀬尾の定置網

運が良ければ魚の選別を手伝った後、漁師さん達の朝食にご一緒出来るかも

瀬尾

青瀬トンネル



青瀬

直径2、3mほどの池があり水の色が赤いため、処刑された人の血だと言われている。江崎祈願碑(南無観世音菩薩)

航海安全祈願文がある。

神場

海星中学校

甌島で2番目に高い山。青瀬のトシドンが子どもたちを見守っている。

ここでナポレオン岩が一望できる。助八古道を歩こうかい!ではぜんざいが振る舞われる。

助八展望所

向井観音堂

森山神社跡

苑川どん

ガワーン様

青瀬共同墓地

青瀬旧港

瀬尾大橋

瀬尾の七曲り

観音堂

瀬尾観音三滝

瀬尾

薩摩半島眺望の丘

口岳(487.3m)

猫神様?



せび 瀬尾観音三滝

集落から少し離れたところにある甌島の観光名所の一つ。上から一番滝・二番滝・三番滝と3段になっている滝。三番滝の麓にある観音堂には、3体の観音様が安置されている。この観音様は矢房大明神から、観音堂に移す際、一時的に向井観音堂に安置されていた。

旧青瀬小学校。下甌島で唯一の保育園。幼稚園は、ここと鹿島地区に分園がある。

Z型の滝

←ごわんの滝

助八古道入口

かのこ幼稚園 下甌保育園

青瀬中学校正門跡

茶工場跡

毎年12月に「助八古道を歩こうかい!」が行われる。前日に夜祭もある。

通称キャットストリート。猫達と出会えるかも。



ガワーン様

青瀬海岸

至瀬尾・手打↓